

令和2年度 エコキッズはだの 環境活動レポート

〔園校名〕 秦野市立本町小学校

○ 取り組み宣言（あいことば）

「自然を守るために、エコ活動で未来を明るくしよう。」

○ 重点環境活動①【エコパトロールの実施】

・毎月、環境委員会が中心となって、下校時間に水道の蛇口がしまっているか電気の消し忘れがないか確認を行った。

○ 重点環境活動②【リサイクルデーの実施】

・毎月第2水曜の昼休みに、エコ委員会が中心となって牛乳パック・アルミ缶・ペットボトルキャップの回収を行い、多くの資源を集めることができた。
・リサイクルデーの呼びかけを放送でも行い、毎月の活動を全校で意識し、定着させることができた。

○ 独自の環境活動

【ベルマーク・古紙回収の推進】

・各教室にリサイクルボックスを設置し、リサイクルデーに合わせてエコ委員会の児童が回収を行った。回収したのは、古紙・段ボール等だけだがリサイクルボックスが設置されていることで、それ以外のゴミの分別への意識が高まった。また、クラスのベルマークの回収も行った。

【「省エネナビ表示器」による節電の呼びかけ】

・今年度よりエコ委員会と清掃委員会を一つに組み合わせり環境委員会となった。今までの清掃委員会としての活動も行ったため、エコ委員会が行っていた「省エネナビによる節電の呼びかけ」は行うことができなかった。

【エコチャレンジ週間】

今年は実施しなかったが12月から、資源回収に協力してくれた児童に「エコツリーの飾り」を配布した。各クラスに配られた、「エコツリー」をデコレーションすることを楽しみながら、児童たちは普段のリサイクルデーよりも積極的に取り組むことができていた。

○ 取り組み宣言（あいことば）

未来に残そう 豊かな自然 ～東小エコキッズ～

○ 重点環境活動①【環境に配慮した行動と意識の向上】

・節水・節電

今年度は新型コロナウイルス予防のため、従来のように徹底することはできなかった。しかし、蛇口を閉め忘れない、教室を出る時には消灯する、特定の人がスイッチに触れる、との呼びかけを行い、コロナ禍でも取り組めることに取り組んだ。

・委員会活動

毎週火曜日に、整備・資源委員会の児童が、各教室にリサイクル紙を回収して回り、ストックハウスに運び仕分けをしている。給食委員会の児童は、週1回牛乳パックの回収に取り組んでいる。（今年度は教員で行った。）また広報委員会の児童は、生活の中で、みんなに呼び掛けたいことを決め、「手洗いをしよう。」「三密を避けよう。」

「食品ロスを減らそう。」というポスターを作成し掲示した。

・リサイクルへの意識向上に向けて

燃えるゴミとプラスチック等、ごみの仕分けに対する意識向上と、共通認識ができるように、担当者が表示を大きくし、マークを入れたものに新しくした。

○ 独自の環境活動②【エコスクールなどの取り組み】

・クリーンセンター見学

今年度4年生は、クリーンセンターにクラスごとに見学に行った。クリーンセンターの職員の方からごみの処理の仕方を教わり、周辺の環境を守るために定められた厳しい基準があること、ごみ処理で発生したエネルギーを電力として活用する等、様々な苦勞や工夫があることを学ぶことができた。

可燃ごみに混ざっていた家電や金属製品が展示されているコーナーでは、自分達も燃えないと分かるゴミが混ぜられている事実や機械が壊れる可能性がある事を聞き、ショックを受けたようだ。今回の見学は、ゴミを分別する大切さを深く知る機会となった。

・今年度エコスクールについては臨時休校と感染症対策のため、残念ながら活用できなかった。次年度は積極的に活用したい。

○ 独自の環境活動③【東の里の取り組み】

・本校では、地域の方の協力を得て、毎年5年生が、「東の里稲づくり」に取り組んでいる。収穫した米は、給食でも振る舞われる。農家の方々の苦勞を知ることで、食品ロスに対する意識が向上し、残食を減らそうという意識につながっている。



○ 取り組み宣言（あいことば）

世界を守る エコの勇者たち

○ 重点環境活動①【家庭・地域への環境配慮行動の波及】

例年、エコ委員会の児童とPTAの地区委員会を中心にペットボトルとアルミ缶の回収を行っていましたが、今年は規模を縮小してPTAの地区委員会を中心に活動をしています。校内に回収ボックスを設置し、児童は家から持参したペットボトルやアルミ缶を入れます。自分たちの行動がリサイクルにつながるという意識をもって活動しています。回収ボックスがいっぱいになると、業者に回収してもらいます。収益金は、児童が学校生活で使えるものを購入する費用に充てています。

○ 重点環境活動②【温室効果ガスの削減】

月に2～3回、エコ委員会の児童が中心となって、各教室から出る古紙回収を行っています。エコ委員会の児童が分担をして、担当する教室の不要な紙類を回収しています。各クラスでは、不要になった紙やダンボールをまとめる手伝いをしてくれる児童もいます。エコ委員会では、この他にも「どのようにしたらエコで素敵な学校になるか。」を話し合い、節電や節水のミニポスターを作りました。自分たちでデザインした水道や蛍光灯のイラストを付けたミニポスターを各トイレや水道に掲示することで、児童は普段から水や電気を無駄遣いしないように意識しながら生活することができるようになりました。



○ 独自の環境活動

愛鳥委員会の児童が探鳥会を行いました。トビやカモなどの観察を通して、学校の周辺に生息している野鳥に親しむことができました。野鳥の生態系を守るためには、環境が大きく関わっていることを知り、自然を大切にしようという意識が強くなりました。

学校農園では、主につくし級の児童がダイコンやサツマイモなど、季節の野菜を育てました。自分たちで種まき・草取りを行い、大切に育てた野菜を収穫することができました。



令和2年度 エコキッズはだの 環境活動レポート

〔園校名〕 秦野市立北小学校

○ 取り組み宣言（あいことば）

北っ子 エコの子 やさしい子
—自然やものを大切にして、自分たちの地球を守り、豊かな未来をつくっていこう—

○ 重点環境活動①【 環境配慮のできる子どもの育成 】

- 『ごみの分別マーク』を校内のいろいろなところに貼り、資源ごみへの関心を意識づけることができた。
- 環境委員会では、感染症対策をしながら学校の段ボールや各学級で集めた古紙などを回収し、ストックハウスへ運ぶ活動を行っている。

環境委員会活動の様子



○ 重点環境活動②【 各学年での取り組み 】

- 1年 さつまいもの栽培一苗植え、さつまいも掘りの体験。土のつるの下の芋が深すぎて、なかなか掘れない場合もあったが、大きな芋が出てきて、歓声を上げていた。家庭に持ち帰り、料理してもらい、おいしさを味わうことができた。
- なでしこ級 さつまいも、じゃがいもの栽培一収穫の喜びを味わうことができた。



- 6年 森林体験が感染拡大防止のため中止となったが学級ごと森林の役割について学習した。



○ 独自の環境活動【 エコスクール 】

- なでしこ級「虫・植物の観察」えのきの会の方々の支援を受けて、「北の子原っぱ」で草を使った遊びを教えていただいた。
- 3年3組（総合）「牛乳パックを溶かして和紙にし、手紙を書いてみよう」という取り組みを計画中。

令和2年度 エコキッズはだの 環境活動レポート

〔園校名〕 秦野市立大根小学校

○ 取り組み宣言（あいことば）

地球にとって、私たちにできること
～小さなエコでもコツコツと～

○ 重点環境活動①【 温室効果ガスの削減 】

・エコキャップ活動

エコ委員の呼びかけにより、エコキャップ運動に引き続き取り組んでいます。自分たちで活動の予定を計画し、分担して各学年のリサイクルボックスをまわり、分別しています。

・資源回収

PTA 資源回収に、エコ委員の児童も参加しています。前日にメール配信を行ったり、あらかじめ学級通信や学年便りで知らせたりして、学校全体で牛乳パックを回収することができました。

・節電・節水

電気のスイッチの下に「消してくれてありがとう」と掲示し、一人一人に意識づけられるようにしています。

○ 重点環境活動②【 環境配慮行動意識の高い子どもたちの育成 】

・2年生「生活科」における環境に関わる取り組み

「うごくうごく わたしのおもちゃ」という単元で、お肉の入っていたトレーや、お菓子の箱などを利用しておもちゃ作りをしました。楽しみながら、環境への興味に繋げることができました。



○ 独自の環境活動

・給食牛乳パックの洗浄・乾燥・回収

毎日の給食で飲んだ牛乳パックは、かごに入れて乾かしています。翌朝、昇降口にある回収場所に担任が持って行くようにしています。集めた牛乳パックは、定期的に「タンザワ」さんに回収してもらい、全校でリサイクル活動に努めています。

・紙の再利用

学習で使った画用紙の切れ端、印刷ミスがあったプリントなど、飾りつけや製版用として使えるように、段ボールに保管し、活動に役立てています。



○ 取り組み宣言（あいことば）

みんなで協力エコ活動 ～自然を大切に～

○ 重点環境活動①【 家庭・地域への環境配慮行動の波及 】

昨年同様、毎週木曜日の登校後に、2か所ある昇降口で委員会の児童が中心となって資源物の回収を行う予定でした。新型コロナウイルス感染予防のため、今年度は中止になりました。

○ 重点環境活動②【 節電・節水・節紙 】

昨年に引き続き、スイッチのところに節電をよびかける紙を貼り、活動を継続しました。教室はもちろん、だれもないトイレの電気がつけっぱなしになっていることは殆どなくなりました。みんなの意識が、定着してきた結果だと思えます。

○ 独自の環境活動

《花や野菜を育てることにより、緑を増やす》

4年生が育てたヘチマとゴーヤーが立派な緑のカーテンになりました。4年生のいる3階まで届いた緑のカーテンを全校児童が目にしてるので、3年生以下の児童は、具体的なイメージをもって来年度の活動に臨むことができると思えます。



学校農園で育てた大根が収穫をむかえました。手のひらに載るほど小さかったものが大人のを借りないと抜けにくい大きくなって児童は大喜びしました。大根の葉の調理方法も教わり、次の日には「大根の葉っぱ、おいしかった。」との報告が聞かれました。

《残さず給食を食べよう》

食育担当の先生を中心に、子どもたちへ調理員さんの一日や食材を運んでいただいている業者さんへのインタビュー動画を作成し、給食週間に全校児童が視聴しました。動画の中で、ある日の給食残量を紹介しました。子どもたちから「こんなに。もったいない。」「もう絶対残さない。」など感想がありました。各クラス、動画を観た後に給食目標を話し合い、常に確認できるよう廊下へ提示し、食を大切にする気持ちを深めました。

○ 取り組み宣言（あいことば）

みんなで取り組もう 渋沢小環境活動 2020

○ 重点環境活動①【家庭・地域への環境配慮行動の波及】

目標：全クラスにおいて、主体的にエコ活動に取り組み、身に付けた環境配慮活動を家庭でも実施することにより、広く家庭へ普及させる。

・各クラスにおける「学級活動プラン」

年度当初に、学級毎の「エコキッズはだの学級活動プラン」を子どもたちと話し合い、「給食を残さず食べる」「水のムダ使いをしない」「3Rを意識して生活する」などと目標を決め、エコ活動に取り組んだ。また、里地里山での活動を中心に自然に親しみ、地域の良さに気付けるような環境活動に取り組んでいる。今年度は学習の行い方を模索し、できる範囲で活動をした。

・児童会・委員会活動での取り組み

リサイクル委員の児童を中心に、アルミ缶、牛乳パック、新聞紙を回収する「渋小エコリサイクル」にも取り組んでいる。活動で得た収益金は、学級での活動が豊かになるものを選んで各クラスに還元している。また、各昇降口前にアルミ缶用、牛乳パック用リサイクルボックスを設置し、いつでも誰でもリサイクルに協力できるようにもしている。

これからも、リサイクルへの意識を高くもち環境を大切に作る子どもに育ててほしい。

○ 重点環境活動②【環境配慮行動意識の高い子どもたちの育成】

目標：ふれあいの里や学習林を中心とした渋沢地域の環境の中で活動する。

・各学年・学級での取り組み

今年度は学年・学級毎に以下のような活動に取り組んだ。

月	学年	活動
10月	1年（全4クラス） 4年2組	自然観察（ふれあいの里） 自然観察（ふれあいの里）
12月	3年（全4クラス）	自然観察（ふれあいの里）

○ 独自の環境活動

〔ITエコ村稲刈り体験：4年生の取り組み〕

4年生は10月にITエコ村の方の協力で稲刈り体験をさせていただいた。鎌を持って稲を刈るのは初体験という児童が多い中、エコ村の方々には丁寧に教えてくださった。子どもたちからは「音がよくて気持ちいい！」「意外と固いんだね」という楽しそうな声が聞こえてきた。収穫したお米は精米され、11月に届けられた。持ち帰った子どもたちからは「自分で刈ったからおいしく感じた」「いつもよりよく噛んで食べた」という感想が聞かれ、稲刈りの体験が充実したものとなったことが分かった。



〔ふれあいの里環境整備の活動〕

渋沢小学校の自然観察園である「ふれあいの里」は、小学校職員だけでなく、地権者の方、PTA 男子部員のお父さん方、市の環境保全課の方など地域の方々の力を借りて整備をしている。今年度も8月に遊歩道の整備や草刈りなどを行った。たくさんの方々にご協力を頂くことで、ふれあいの里は子どもたちが安全に観察できる状態になった。

これからもふれあいの里を大事に使わせて頂きたい。



○ 取り組み宣言（あいことば）

すえひろエコキッズ ～エコの輪を広げよう～

○ 重点環境活動①【①環境配慮行動意識の高い子供たちの育成】

◆ 栽培活動・飼育活動

各学年、生活科や理科の野菜やヘチマ等を育てる学習などをきっかけに、栽培活動に取り組みました。野菜の観察を通して植物の成長や自然の恵みなどを感じ、自然環境に対する興味関心を深めるとともに、野菜の収穫などを通して自然の恵みについての理解を深め環境を持続していくことの必要性についての理解を深めました。また、同様に生活科や理科の学習から、昆虫などの飼育にも取り組みました。休み時間にバッタの食べる餌をとりに行ったりする姿や、野菜の観察を通して成長を喜んでいる様子が見られました。

◆ 校外学習

1年生はべこちゃん公園に行き、落ち葉や木の実を見ながら秋という季節を感じ、自然と触れ合い、季節の移り変わりへの興味を深めました。

2年生では弘法山・権現山へ行き、どんぐりを探したり、バードウォッチングをしたりして秋の自然と触れ合いました。身近な自然を満喫したり、素晴らしい景観を見たりしたことで、自分たちの地域の自然を好きになった様子が見られました。また、生活科で、くずはの家へインタビューをしました。インタビューを通して秦野の自然について学び、子供たちの驚いた表情が見られました。



○ 重点環境活動②【③家庭・地域への環境配慮行動の波動】

◆ 資源回収

給食の牛乳パックを給食委員会の児童が中心となり、週に1回、回収を行いました。また、ふれあい環境委員会の児童が中心となり、毎週の資源回収日に家庭で出た牛乳パックや古紙などを回収しています。資源回収日については学年だよりや学級だよりに記載し、保護者へお知らせし、啓発を図りました。集めた資源はストックハウスに保管して、定期的に回収してもらい、児童会の活動に役立っています。



○ 独自の環境活動

◆ 節電・節水

電気使用量を知ることのできる節電パネルを活用して、前年度の電気使用量と比べ、どの程度節電できたかをふれあい環境委員会の児童が中心となって調べ、毎日のお昼の放送で全校の児童に伝えています。

また、水道場には節水を呼びかけるポスターを掲示し、節水に取り組んでいます。さらに休み時間にはエコパトロールを行い、節電・節水の呼びかけを行いました。

さらに、児童集会を通して全校児童に、節電節水の取り組みについての呼びかけを行い、意識の啓発を行っています。



◆ ゴミの分別・削減

教職員が中心となり、日頃より資源物の分別についての徹底を図り、ゴミの分別や削減に努めました。また裏紙使用に積極的に取り組み、紙の使用量の削減に努めるとともに電気や空調などのこまめなON・OFFに気を配り、電気使用量の削減に努めました。

また、一度使ったファイルなどで、まだ使えるものはリサイクルに出したり、別の方法でもう一度使用したりし、エコを心掛けました。

◆ 環境活動（探鳥会）

今年度は、新型コロナウイルス感染症により、開催することができませんでした。今後の在り方については、多くの児童が参加しやすいよう検討を進め、野鳥を通して、自然に対する興味関心を深めるとともに、自然の恩恵を考えながら、環境保全の心を養っていきたいと考えています。

○ 取り組み宣言（あいことば）

『みんなでやろうよエコキッズ われら地球をまもるんジャー！』

○ 重点環境活動①【 環境配慮行動意識の高い子どもたちの育成 】

ごみの分別については、全体的によくできました。課題であった古紙の回収についても昨年度の卒業生が制作した資源回収ボックスを活用することで学校全体を通して意識を高めていくことができました。また、習字の墨液洗いについては、書写専科の指導が徹底されていて、手洗い場はきれいでした。新型コロナウイルス感染症対策の関係もあり、時間や活動内容に制限がありましたが、学校全体で協力して「分別ごみ・リサイクルごみ」に対する意識が高まりました。

○ 重点環境活動②【 温室効果ガスの削減 】

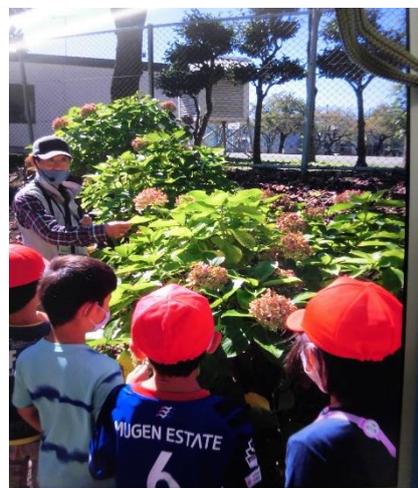
使用していない教室の照明やエアコン・扇風機、トイレの照明や換気扇をこまめに消すことをクラスの児童に周知し、子ども達の節電の意識向上に努めました。職員会議のように全体が集まる場でも声かけをすることで全員が意識して取り組むことができました。それを踏まえて、担任の方から、児童に伝える流れもしっかりとしていましたので全体の連携が取れていました。クラスによっては係活動の中に節電を意識させる取り組みを行っているクラスもありました。「節電や環境」に対する関心が育っています。

○ 独自の環境活動

- ・エコスクールの実施

「3年 身近な四季の植物と親しもう」

南が丘小学校近隣にある立野緑地の植物や虫などを紹介してもらいました。普段、自分たちが何気なく、通学路で通っている道にも様々な四季折々の変化があることを知るきっかけになりました。教えてもらったことから植物や虫に対して、興味をもつ児童も増え、新しい学びに広げていくことができました。



「4年 3つのRでゴミを減らそう」

リサイクル・リユース・リデュース、それぞれの意味を図やイラストを用いて紹介していただきました。秦野市の現在のゴミの量や稼働している施設を知ること、自分たちの秦野市の取り組みについて学ぶことができました。この学習を通して、児童たちの会話の中でも3Rの言葉が出ており、ゴミを減らそうとする意識を高めていくことができました。



○ 取り組み宣言（あいことば）

自然を守ろう！堀川エコ

○ 重点環境活動は、新型コロナウイルス感染予防のため実施することが難しかった。そのため、環境活動の一環として2ヶ月に一度、堀川小学校やその周りに生息する季節の動植物をポスターにまとめて掲示した。児童は写真や吹き出しなどに興味を示しており、堀川小学校の自然について考えるきっかけになった。



○ 独自の環境活動①【学校花壇の整備】

自然委員会の活動の中で、毎朝の水やりや花の植え替えなどを行った。数少ない委員会活動だったが、休み時間などを利用して花壇の整備に努めることができた。花壇に植えたチューリップの球根は市内の泉蔵寺さんに譲っていただき、お礼のメッセージを伝えることができた。



○ 独自の環境活動②【各学年での取り組み】

3年生は、総合的な学習の時間で青首大根や赤大根、ブロッコリーやほうれん草、じゃがいももの栽培を行った。毎日の水やりと草むしりを行い、地域の方の協力も得ながら、種まきから収穫や調理実習を行った。自分たちが育てて収穫した野菜を調理して食べることで、自然の恵みをより感じる事ができた。

5年生は、総合的な学習の時間でバケツ稲の栽培・収穫を行った。米作りの一通りの流れを体験し、収穫することで自然の恵みの有難さに気付くことができた。



○ 取り組み宣言（あいことば）

地球を守り隊！！ 西小エコキッズ！！

に…西小をきれいに	エ…エコ活動に取り組もう
し…自然を守ろう	コ…こまめに節約
し…資源を大切に	キ…きれいに分別
よ…よく考えて	ツ…使い過ぎに注意
う…うれしいねりサイクル	ズ…ずっとピカピカ

○ 重点環境活動①【家庭・地域への環境配慮行動の波及】

昨年度まで、月に2回、金曜日の朝に各家庭にある資源物を回収する「なかよしリサイクル」を行っていましたが、しかし今年度は、コロナウィルスの影響で委員会による直接の回収をすることができませんでした。そこで、委員会紹介動画の撮影等の活動を通してリサイクルの大切さや、気軽にできるエコ活動を全校に呼びかけました。

○ 重点環境活動②【環境配慮行動意識の高い子どもたちの育成】

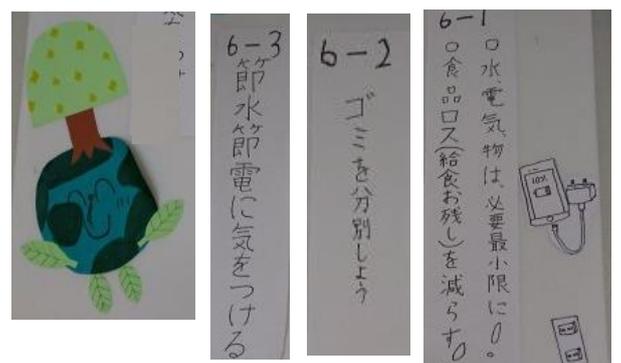
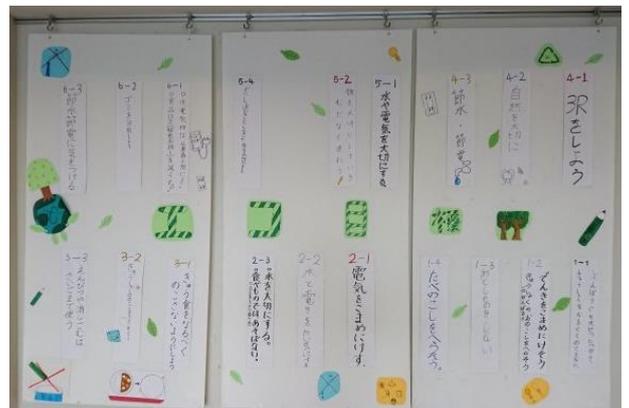
アルミ缶や牛乳パック、新聞紙を回収する「リサイクルボックス」を、2か所の昇降口に設置しました。これまで継続している取り組みなので、「なかよしリサイクル」の回収日を設定していなくてもボックスに入れる児童の姿が見られました。児童の間に「学校でリサイクルができる」ことが定着していることがうかがえました。また、リサイクルボックスの横にはペットボトルキャップ回収ボックスも設置し、福祉委員会と協力して、いつでも回収できるようにしました。

○ 独自の環境活動【エコ目標を作成・掲示】

環境委員会では、普段から取り組める環境への取り組みを「エコ目標」として各学級で一つ決め、その目標をもとに、自身の行動が見つめられるようにしました。委員会紹介動画で環境委員会の児童が「エコ目標」の趣旨について説明し、学校全体で共通理解が図れるように、体育館前のホワイエに掲示して周知に取り組みました。

「エコ目標」の内容には、節水・節電やリサイクル、ごみの削減や分別、物を最後まで使う、給食残量を減らすなど、各学級の実態に応じた様々な内容が掲げられました。身近な内容について目標を立てることで、エコに結びつく児童の行動が増えてきました。

☆コロナウィルスの影響で、期間が短く、活動の縮小を余儀なくされましたが、これまでのエコキッズはだの積み重ねがあったため、環境への意識をもって児童が取り組むことができました。



○ 取り組み宣言（あいことば）

見つめよう！調べよう！守ろう！上地区の環境！

【重点環境活動① 子どもたちの環境配慮行動意識の向上】

上小学校では環境保護の観点から、学校の中で、児童一人一人が「自分たちにできることはどんなことか」を考え、なるべくごみを出さない、給食の残量を減らすなどのリデュース、節電・節水やごみの分別などの資源を大切にしている活動等に取り組んでいます。

水道場やスイッチの近くに節電・節水を呼びかけるミニポスターを掲示したり、校内のいろいろなところにプラスチック分別用のごみ箱を設置したりして、子どもたちに広くエコについて呼びかけています。

少しずつではありますが、児童の環境保護に対する意識が高まり、生活に結び付く行動が増えてきています。

また、今年も理科「生き物の一年間」の学習で、ヒョウタン・ヘチマ・ゴーヤの種をプランターに播き、生長したこれらのつるをネットに絡ませ、「みどりのカーテン」を作りました。



【重点環境活動② 家庭・地域への環境配慮行動の波及をめざす】

上小学校では、年に4回『ごみ0運動』を行っています。運動会の前には、校庭の草むしりを児童と職員全員で行います。

全校で一斉に行うことで、みんなで学校をきれいにしているという気持ちにもなり、自分たちできれいな学校を維持していくんだという気持ちで、学年ごとの分担場所を一生懸命清掃しています。



【独自の環境活動】

5年生は、毎年地域の協力者の方と一緒に総合的な学習の時間を使って米作りを行っています。家の手伝いで、田植えや稲刈りを経験したことがある児童もいますが、全てを手作業で行うことは初めてで、この体験を通して米作りの大変さだけでなく、農家の人たちの思い、ご飯を残さずに食べる大切さなども学んだようです。また、実際に自分たちでもバケツ稲を育てて、もみすりまで行い、季節ごとにさまざまな苦労があることを知りました。

これらの体験から、米を作るということ以外にも多くのことを学ぶことができました。物があふれている世代の子どもたちにとって、この米作りは、とても貴重な体験になりました。



○ 取り組み宣言（あいことば）

地球を救え！鶴小エコキッズ

○ 重点環境活動①【温室効果ガスの削減】

コロナウィルス感染症の関係で制限はあったが、昨年度から引き続き、各委員会でリサイクルや緑化などの活動を行うことができた。また、水道に「えんぴつ一本分の水で」の張り紙を掲示。トイレなどの電気スイッチには「つけたら消そう」などの張り紙があり、全校児童にも根付いてきている。

○ 重点環境活動②【家庭・地域への環境配慮行動の波及】

環境委員会では、毎週金曜日にアルミ缶、牛乳パック、ペットボトルキャップの回収を行っていたが、感染症防止の観点から、今年度は新聞紙・雑誌などの紙類だけに制限して、資源回収を行った。多くの児童に参加してもらえるよう、前日に放送で回収のお知らせをしたり、ポスターを作成し、昇降口・各クラスに掲示を行ったりした。

○ 独自の環境活動

① 【環境に関する出前講座の活用】

4年生では、社会科の学習単元である「水はどこから」の学習の一環として、9月に「安全でおいしい水道水」の出前講座に参加した。秦野の地下水の秘密や「利き水」体験を通して、普段から慣れ親しんでいる水についてあらためて知識を広げる素晴らしい機会であった。出前講座後の社会科の学習では、出前講座で学んだことを生かしながら、意欲的に学習に取り組む姿が各クラスで散見された。



② 【総合的な学習に取り組む】

5年生の総合的な学習のテーマ「環境」のもと、「鶴巻再発見」をコンセプトに一年間かけて学校の池の改造に取り組んだ。成果として、地域の生き物に関心をもち、秦野・鶴巻地区の土地に合った生き物や植物を調べ学習できた。また地域の方々（魚を守る会・くずはの家のの方々）のご支援により魚の生態系を学習し、地域の環境を知ることによって学習が深まった。

子どもたちは毎日池の様子を観察したり、生き物係が分担し休み時間に清掃を行ったりしている。生き物や子どもたちが集い、そのかわりの中で子どもたちが生き物に関心をもち、心豊かな学校生活が送れる環境づくりの一つとして役立つビオトープになることが理想である。

